

議会だより



■ **特集 議会と区長との座談会 2～5**

■ **一般質問 (中村議員、山崎議員、岩田議員) 10～12**

■ **地域で活躍する団体を訪ねて
(大正琴部) 13**

**12月12日
保育所餅つき**

考える 区長との座談会』

1月5日開催



舟久保下暮地区長



渡邊上町区長



勝俣本町区長



岩田柿園区長



渡部倉見区長

新区長 区行政への抱負、町行政・議会への期待を語る

住民皆様のご意見等を議会広報の紙面に反映させるため、また今後の議会活動に生かすため、「西桂の町政を考える」をテーマに座談会を企画し、地域住民を代表して、全5地区の区長さんにご出席をお願いいたしました。平成30年1月5日の新春、新区長さんには任期1年間の抱負と、町政に対する住民の期待を語っていただきました。

区行政への抱負等

司会 本日の司会を務めます議会広報編集副委員長の勝俣豊一です。住民の皆様方のご意見等今後の議会活動に反映させるために議会広報編集委員会が企画をいたしました。

小山議長 皆さん、新年明けましておめでとうございます。区行政の発展と町政発展のため一年間ご尽力をいただきたいと思います。本日、新区長様方よりいただく貴重なご意見は議会だよりとともに議会活動に反映させていただきます。

司会 ここで、区行政への抱負を語っていただきます。

倉見区長 倉見区は、12月から区長業務が始まっております。去年の暮れに組長会議を行ないました。

が、大勢の組長が集まる時に駐車場が少なく、不便であるという話がありました。また全体的に、近所の付き合いが非常に少なくなっている、つながりを大事に広めていきたいと思っているので、そのようなことを念頭に1年の仕事をしていこうかと思っています。

柿園区長 柿園区でも人口減少のためあと20年し

たら、あの家もこの家も空き家になるね。という話が出ました。やはり人口が減り、高齢化も進むと、要支援の方々の把握、また民生委員、消防団、防災関連の仕事、区としての役割がかなり、重要になってくるのかと思います。また要望事項を達成できるよう、1年間努めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

本町区長 本町区は人口、世帯数ともに非常に少ないわけですが、その中で少子高齢化の状況が著しく現れています。また、最近では空き家も目立つ様に

思います。町の行政の方々、町議会議員の皆様と一体となり、少しでも住み心地の良い健全な地域とするため区民の皆さんの協力のもと、区の運営に取り組んでいきたいと思っています。

上町区長 私は、諸先輩方々が培ってきた伝統を、踏襲していかなければと思っています。また若い組長さんの声を色々反映し、時流に沿った形で少しずつ改革していきたいと思っています。町への要望事項では安心、安全、快適な生活環境などの課題が非常に多かったと思います。出来る限り、行政また、議員さんと相談しながら、解決していきたいと思っています。よろしくお願いします。

下暮地区長 これからも暮らしよい町づくりを目指し努めていきたいと思っています。下暮地区は三ツ峠登山道に面しており、県内外からのお客さんが多く見受けられます

特集

西桂の町政を『新春・議会と



活性化が期待される柿園地区の分譲地

ので、ゴミのないきれいな町づくりを目指しました、小中学生の下校時、住民への声掛け、見守り、安心、安全に帰宅できるよ

うな町づくりなど意識を高めていきたいと考えております。よろしくお願ひします。

町行政と町議会へ望むこと

司会 町行政と議会へご不明な点や要望等がありましたら述べてください。

電柵の延長について

下暮地区長 尾尻地区に電柵を設置し、効果が上がっているようです。電柵の延長をお願いしたいと思います。

議長 電柵については、尾尻地区が有効でありました。

山崎議員 基本的に農地を守る補助金は多いのですが、住宅地の鳥獣被害はメニュー的に厳しい。町の予算は厳しいので大概、補助金がある事業を大前提で選びます。町単事業としてどこまで出来るかわかりませんが、一番効果的なところから選んでやっていくことは可能だと思います。

町の活性化について

上町区長 若い方々との

意見交換などは、町ではなされているのでしょうか。働きだした方々との交流会、意見交換等があるのかお聞きしたいと思います。なぜこのような質問をするかというと、町の将来展望を考慮したとき、決して20代、30代の若者の意見が反映していないと考えにくい状況ではないでしょうか？年齢層の高い方々ばかりの考え方では、若者はどんな町を離れる可能性大と思われれます。都会での生活経験のある若者が色々などころから人を呼び込んでイベントをしたり、交流を図ったりして少しでも町を元気にしたいという声を聞いています。若い人がちよつと入って来ると、話が活性化してくる。若い人たちが定着するための施策を考えていかないと、町自体が衰退していくのではないかと思います。いかがですか。

でも、集まる人も少ない。それには我々の努力不足もあるのかも知れませんが、今後、町へ提言していくにも、若者が町に定住するような、独自の施策を模索する中で、議会としても研究を今後していかなければと感じております。

武藤議員 今、若い人たちが入れる組織作り、働く場所、定着化の3つ議題を出していただきました。議会報告会などここ何年かやっているのですが、若い方に来ていただけると色々な意見があるかと思ひます。

働く場所については、例えば例えばインターネットを使ったデザイン系のところを、シェアハウスなどでどうかと、今勉強しているところです。

定着化ですが、旧権守医院のところを住宅地にして若い人に提供して、定着を図るなど、今後空き家を使って定着化を図っていく考えです。

上町区長 ワーカーズコ

先に進めよう お年寄りの足

ープが今年の10月にイベントを実施するため、意見を聞きたいとの依頼があり、会議に参加しました。それは今いる人達を元気にしたいということ色々なイベントをするそうですここに在住の人達が町おこしをしないと本末転倒になってしまう気がしますが、せっかくそのような団体が動くようにしているので、出来る限り積極的に参画する必要がありますのではと思っていますので、是非そのような場合はご協力いただければと思います。

司会 このワークスコープのイベントなどには議員の皆さんも率先して協力したいということ、ワークスコープと話をしながら手助けしたいと思っています。

本町区長 役場の前の国道139号線が昨年の暮れに、舗装され、きれいになりました。町当局の後押し、議員の皆さんの後押しがあつて、きれいな道路になったと思つてい



電柵を有効に活用

ます。柿園、本町、上町にまたがり、安堵している様子が見えます。ありがとうございます。

司会 我々議会としても、少しずつでも進めていきたいと鋭意努力しております。

上町区長 区民の皆様へ情報を伝達するのは、昔ながらの回覧板です。当然回覧板は在宅でないと

見られない。かといって、自宅に誰もいない状況が続くと回覧が遅くなる。

あるいは、本来見るべき人が見ないでまわしてしまふこともあろうかと思ひます。緊急時の連絡網システムはどうしているのか懸念しています。上町地区の連絡ルートは、スマホのラインで流しております。誰かが流せば

瞬時に情報が伝わります。そのような改革をしました。町の行政として、今の状況を考える必要があるのかと思います。

柿園区長 大変参考になる話でした。ラインは使つてはいますが、柿園地区でも、早速チャレンジしてみたいと思います。ラインですと文章が残りますから間違いも少ないという利点もあると思います。

武藤議員 私もラインを使いますが、町としてみると、ラインを使つていない人のフォローの仕方をどのようにするか、確保できれば良いのですが。

上町区長 一つで決めるのは難しいと思います。**司会** 連絡網は速めにして、確実に伝えることが必要だと思います。議会としても行政に改革できるものはないでしょうかという事です。区長として大変なのは、回覧物の多さだと思ひます。そこも行政に改革をと考えています。

倉見区長 公民館に携帯ボンベ式の発電機が町から来ています。それに関わる、周辺機器が何も来ていないので、宝の持ち腐れかなと思います。

柿園区長 ないものは町で補助金が出るので、整備していただきたいということです。

司会 ほしいものは区長の権限で予算で買つていただいてかまわないと思います。

高齢者の交通手段対策は

上町区長 切実な声として、高齢者が買い物に行きたいが交通手段がありません。デマンドバスという話も出ていますが、町内に住まれている高齢者の方々が困っていることに対して、現状どの程度まで緩和できているのか知りたいと思います。**中村副議長** この問題は、平成21年10月に路線バスが廃止になって、その後議会、区長などで問題が出ています。町長として

これから多くなる 空き家 その対策は

はデマンドバスなどで対応したいということですが、前に進んでいません。他に例えばお助け隊などのグループを作って、その人が買い物に行つて、家まで届けてやる、あるいは電球を変えるときに、お助け隊に頼んで替えてもらうなど、議員でも模索しております。町長にも提言してまいります。

武藤議員 浜松と京都の丹後では、NPO法人で車とボランティアを確保し、地域の方を助けるというのが出ています。ただ問題があり、お金をもらったらダメだとかの条件があり、NPO法人としてやる場合には、町長が主になつて管理者（バス・タクシー業者）が委員会を作り、創業者と話しをしてからになり町長はその委員会を作るような話はしていましたがそこまでいつていません。補助券で止まっています。デマンドバスは、お金をかけて利用者が少ないと費用対効果といわれ



座談会に臨む各地区区長

ます。なので、リタイヤした人たちでNPO法人を作つていったらどうかと、議員では勉強会をさせていたいております。実現までには乗り越えないといけないことが幾つかあり、そこまで行つていないです。

瀧口議員 町でもタクシーの補助券の計算をしていると思うのもう少し

待つていただきたい。

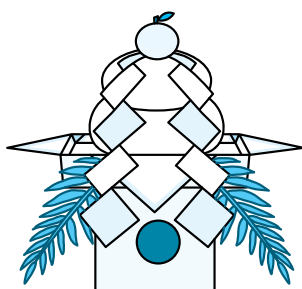
山崎議員 基本はビジネスでは成り立たない前提でこのような環境が生れているので、運営するのはボランティアになります。町民のボランティア精神の高揚も併せて行い、各組内での議論も含めて色々な場で議論していただき、議会としても事例を集めて勉強していきま

す。西桂にとつて何がいいかを考える良い機会です。では是非議論していただきたいと思います。ただ、西桂は徒歩15分、20分ならほとんど行ける。場所によつて感覚が変わるということも理解していただきたいと思います。

本町区長 上町地区で下水道工事をやっています。139号線沿いの下水道の工事がどうなっているか、情報はありますか。

柏木議員 平成32年まで予定はありますが、本線は国、県からの補助金が出ていますが、支線は町単なので、何かの補助金を見つけてやるようになります。

司会 貴重なご意見ありがとうございます。本日、各区長さんからいただきました貴重なご意見を今後の町行政並びに、町議会に反映できますよう、議会側といたしましても鋭意努力してまいります。



座談会参加者（敬称略）									
倉見区長	渡部 保	柿園区長	岩田 裕展	本町区長	勝保 幸蔵	上町区長	渡邊 光二	下暮地区長	舟久保一男
議長	小山 正則	副議長	中村 常実	議員（司会）	勝保 豊一	議員	武藤 隆義	議員	柏木 正
議員	瀧口 幸男	議員	酒井 基和	議員	山崎 泰洋				

降雪時は除雪業者を 1社追加し対応

平成29年度西桂町 一般会計補正予算(第5号)

問 総務費、民生費関係が減、児童福祉費が増になっているが。

総務課長 当初予算を積算するのですが、職員の異動に伴う、給与の増減ということで補正をさせていただいております。

問 児童福祉費が増えているので、こちらへ力を入れてくれたのかと思うのだが。

総務課長 保育所費が伸びていますが、保育士の数が足りなくなつたので、一般職として勤務している職員を、保育士職に付かせたので増加しております。

問 除雪費について、業者追加による基本料の追加ということで30万円の追加計上だが。

総務課長 昨年度まで倉見の県道を除雪していましたが、それを延長する中で町道も引き続き除雪するというところで1業者追加させていただきました。

問 商工会等への補助金に関して、未払いが6月にわかったということだが、なぜ、その時点で補正をしなかったのか。

産業振興課長 補正の時期が遅れているということとは、否定できないと思います。内部調査を行い、経緯を検証し、再発防止を図るということの確認ができましたので、今回、補正予算計上をさせていただきました。

問 他に同様の事案はないか。町長の考えは。

町長 幹部会の中で、特にシステム等が変わった

時は、再度注意して、検証を徹底するように、厳重に注意しました。

平成29年度西桂町国民健康保険 特別会計補正予算(第2号)

問 マイナンバーカードの利用率あるいは、取得率は。

税務住民課長 平成29年12月1日現在、有効カード枚数と申請者の交付率は96.8%、全人口に対する交付率は7.6%です。

問 思ったより、交付率が低い。交付率が増える、町としてのメリットは。

税務住民課長 確かに交付率自体は半分より下だと思います。身分証明はほとんど免許証で対応でき、マイナンバーカードが無くても対応が出来るので、普及が難しいのではないかと思っております。

町長 今後は、町で出来るようなマイナンバーカードの使用方法等も考え

ていかなければならない。

例えば検診率の向上のために、検診を受けた方についてはそのマイナンバーカードにポイントを貯める、また、ボランティアに参加した人は、そのポイントをためる、そしてそのポイントを年末に現金化したり、買い物券にするなどの方法を研究していかなければならないと思っております。

問 繰越金について、概

平成29年度西桂町介護予防支援 事業特別会計補正予算(第1号)

問 介護保険特別会計、介護予防サービス計画経

費23万8千円の増。当初66万3千円の支出が介護予防支援の介護予防サー

要説明書に残金の表示はできるか。また残金は。

税務住民課長 次から概要説明書に載せたいと思います。残金については補正に載せた金額、59万6千882円が現在残っています。一昨年基金を取り崩し現在国民健康保険には基金が0円という状況にあります。来年度の制度改正に向けて基金への積立、これから冬にかけての医療費の動向等、鑑みながら対応していきたいと考えております。

問 ビス経費収入になると理解しているが。

福祉保健課長 介護特会の介護予防サービス計画の経費は、介護予防特会と

12月定例会

12月定例会は平成29年12月8日に招集され、12月8日に本会議、この後会期中に各委員会審査会、本会議が開催され、8日間の会期をもって、15日に閉会いたしました。町執行部より承認1件、条例2件、補正予算6件、その他議案1件、が提案され、全ての議案が原案のとおり承認・可決されました。

12月定例会・条例改正、議決案件

賛成全員

議案名	内 容
西桂町職員給与条例の一部改正	人事院勧告・山梨県人事委員会勧告に基づく国・県職員の給与改定に鑑み、所要の改正を行うための条例の一部改正
西桂町営住宅設置及び管理条例の一部改正	西桂町営住宅法の一部改正による所要の改正
西桂町地区集会場に係る指定管理者の指定	5地区の区役員の交代に伴い、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を得るため。

12月定例会・補正予算

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
平成29年度西桂町一般会計補正予算(第4号) (専決処分)	406万円	21億4417万円
○歳入 県支出金314万円・繰越金92万円増額 ○歳出 衆議院議員選挙執行経費計上		
平成29年度一般会計補正予算(第5号)	2772万円	21億7189万円
○歳入 障害者自立支援給付費国県負担金503万円増額・社会保障税番号制度システム整備費補助金245万円・繰越金2015万円増額 ○歳出 総務管理費：人件費141万円減額・マイナンバー制度対応システム改修費280万円増額・社会福祉総務費：人件費242万円減額・障害者自立支援給付費697万円増額・国保会計繰入金136万円増額・保育所費：人件費759万円・管外保育負担金256万円増額・商工団体育成経費1172万円増額・道路維持補修経費76万円・除雪経費30万円増額・町営住宅維持補修経費414万円増額・消防費：防火水槽用地購入費242万円追加		
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	1165万円	5億3067万円
○歳入 一般会計繰入金136万円増額・繰越金1029万円増額 ○歳出 総務費：人件費104万円・システム改修費32万円増額・国県返還金1029万円		
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	1712万円	3億4272万円
○歳入 一般会計繰入金19万円減額・繰越金1731増額 ○歳出 地域密着型介護サービス給付費288万円増額・施設介護サービス給付費1082万円増額・介護予防サービス給付費164万円増額・包括的支援事業費76万円増額		
平成29年度介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)	24万円	91万円
○歳入 介護予防サービス計画費収入24万円増額 ○歳出 介護予防サービス計画作成経費24万円増額		
平成29年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)	49万円	6693万円
○歳入 一般会計繰入金8万円増額・繰越金41万円増額 ○歳出 総務費：消費税41万円増額・水道改良費：人件費8万円増額		
平成29年度下水道特別会計補正予算(第1号)	9万円	2億449万円
○歳入 一般会計繰入金9万円増額 ○歳出 下水道事業費：人件費9万円増額		

【問】水道管の老朽化対策を怠ると、町民が甚大な影響を受けるので、適切な対応を。
建設水道課長 町民の期待に応えられるよう努力していきたいと思っています。

平成29年度西桂町簡易水道特別会計補正予算(第1号)

【問】計算方法の違いによるということですが、お金の話なので、きっちりとした数字を出していただきたい。
福祉保健課長 予算等、相互に合う形で作っていきたいと思います。

連動しております。同じ金額がそこにはいかなければならないのですが、件数での計算と実績に基づいての計算をしてしまったということ。同じ予算の中で同額になるようなかたちを取っていきたいと思っています。

そなえ館を見学



メガネをかけて3D体験

町議会議員研修会に参加して

平成16年10月23日17時56分。新潟県中越地方を震源としたマグニチュード6.8の直下型地震が発生しました。震度7を記録した新潟県川口町や、震度6強となった小千谷市、山古志村、小国町、震度6弱の長岡市や十日町市などを中心に、甚大な被害をもたらした「新潟県中越地震」です。

メモリアル回廊の一つである「おぢや震災ミュージアムそなえ館」の見学に行ってきました。

「おぢや震災ミュージアムそなえ館」は震災から7年目を迎える平成23年10月23日にオープンし、発生当時の状況や復興の過程を展示した、ふれられる施設です。エン

トランスの隣には体験エリアとして、中越地震の揺れを波形をもとに再現された強烈な揺れと、3D×4Dの迫力ある映像とを組み合わせ、体感できる「新体感型地震動シミュレーションシステム」が設置されています。

のどかな山里を襲った直下型地震や、その後幾度となく発生した余震、そして突如として被災者となった小千谷の人々の不安……など。地震とい

う災害の恐ろしさを、あらためて感じさせる内容でした。

大地震発生瞬間には、ほとんど何もできないので、事前の備えが大切なのだ」と改めて考えさせられました。

被災直後から3時間後の状況を展示するスペースに続いては、3日後、3カ月後、3年後と、4段階に区切って展示しています。

3時間後の部屋では、地震直後に発生した地滑りの様子や、道路や建物の被害についての展示が行われていま

す。次の3日後の部屋では、避難生活に関する数多くの展示が行われていま

す。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。

山間に集落が点在する小千谷では、地震によって21地区、431世帯、1772名が孤立を余儀なくされたそうです。



おぢや震災ミュージアム

新潟県中越大震災「格言風呂敷」



大きな震災からの格言をまとめ、当時の思いを風呂敷に織り込みました。

緊急時に避難袋にもなる大きめサイズの風呂敷です！

「中越メモリアル回廊 おぢや震災ミュージアムそなえ館」

た。被災後1週間にわたって車で生活の強いられ方の体験談や、ビニールハウスを使用した避難所の様子など、当時の状況をリアルに感じさせる展示が並んでいます。

被災3日後の状況は、小千谷市内の避難者数は2万9243名。最大の避難所となった小千谷総合体育館には、一時期3000名もの避難者が集まり、状況は混沌としていたようです。

被災3カ月後の部屋には、仮設住宅での暮らしや大きな被害を受けた集落の集団移転や厳しい豪雪地域での避難生活についての展示が並んでいます。行政やボランティアの支援もあつて、ようやく復興への希望を感じるのがこの時期なのだそうです。震災からの復興において、地域住民同士のつながりがいかに大切なのかを感じさせるパネルが展示されていたことも印象的でした。

被災3年後の状況につ

いて、小千谷の復興の過程を時系列に解説したパネルをはじめ、さまざまな展示が行われています。美しい棚田を取り戻す「小千谷市の棚田を守る会」や、伝統行事牛の角突きを再開させた「小千谷闘牛振興協議会」被災した古民家を人々の交流拠点として再生させる「芒種庵(ぼうしゅあん)を創る会」の取り組み……など。数々のチャレンジを展示されていました。一歩一歩進められる復興への希望で満ち溢れているかのようでした。

「おぢや震災ミュージアムそなえ館」の特徴のひとつである時の流れとともに移り変わる小千谷の様子を見学してみて、大地震の恐ろしさや防災対策の大切さはもちろんですが、災害から復興する人々の力強さや、人と人との「つながり」の大切さを感じずにはいられませんでした。

(文 武藤隆義)



一般質問

中村常実 議員

問

町有地の現状と活用について

答

「町有地等検討委員会」の答申に基づき
優良企業誘致の推進を図る

中村議員

公共財産の活用は、優良企業の誘致を含めた新たな自主財源の確保や雇用の創出など非常に有効な手段であると考えているが、柿園町有地834坪の有効活用について、この町有地の購入を希望している企業があるようですが、現状は。

また、企業誘致が進展していない状況であれば、人口減少対策として、宅地分譲地として活用する考えは。

町長

柿園地区に所有している町有地につきましては、最近町内企業より事務所兼工場用地として事業を拡大するため、当該町有地を取得したい旨の相談がありました。「町有地等検討委員会」に諮問したところ、長期間利用されていない土地であり、行政の施設建設での利用には不

向きな立地であるため、企業誘致のための利用が適当と考える
と答申をいただきました。

この答申に基づき、周辺住民へ配慮した企業を誘致することが、町有地の有効利用であり、町の重要課題であります。自主財源の確保や雇用の創出など非常に有効な手段であると考えておりますので、今後「不動産鑑定」を行い交渉を進めていきたいと考えております。

事業を拡大する事で、騒音の有無、車両の出入り等について、今後の交渉で聞き取りを行い、確認を行ってまいります。

また、近隣住民に対しての説明等については、当然のことだと考えており、地域住民の理解が得られた後、契約等の手続きを進めたいと考えております。



有効活用が検討されている町有地



一般質問

山崎泰洋 議員

問

鳥獣被害対策のための、緩衝帯づくりを^{※1}

答

電気柵設置とあわせて取り組む

山崎議員

柿園、郷土地区における鳥獣被害対策を実施する場合には、里山を再生する事により、動物、人間がお互いに目視でき、その距離を保てる緩衝帯づくり対策を活用しては。

町長

下暮地尾尻地区にて、総延長995mの電気柵設置が完了しました。今後の鳥獣被害対策の効果期待されることです。郷土地区の現状ですが、優良農地と柄杓流川との間に位置する農地は、長年の耕作放棄によって樹木が育ち下草に覆われ山林化しております。その結果、野生動物の生息域化し、隣接する平坦な水田への深刻な獣による被害が顕著となっております。その結果、耕作者の営農意欲の低下をまねき、耕作放棄地を増加させる原因となり、鳥獣被害をま

ねくという悪循環になっていきます。

提言いただいた里山再生による鳥獣被害対策ですが、郷土地区の耕作放棄地は西桂町整備計画区域外であるため里山再生に取り組むためには、農地転用と森林整備計画の変更が必要です。しかしながら、この里山再生による緩衝帯は、人間と野生動物との共存が図られるという意義ある取り組みであると思われ、ますので、電気柵の設置と併せて取り組んでまいりたいと思います。

山崎議員

里地里山は、日本の原風景をなし、心の豊かさを育み、教育や福祉、芸術、観光といった面からも再評価されています。

鳥獣被害対策という視点だけでなく、新たな観光資源としての視点を持った施策をお願いしたい。



鳥獣被害対策のさらなる検討を

※1 緩衝帯

農地に隣接している森林などの下草や灌木^{かんぼく}を刈り払い、見通しをよくすること



一般質問

岩田裕展 議員

問

子育て施策について

答

「子育て支援のまち」
宣言を発していく

岩田議員

9月定例会で「子育て支援のまち」を積極的にPRしていく、と発言されているが、子育てに関係する町内各種団体のご賛同をいただくなかで、「子育て応援宣言」を発したらどうか。

町長

子どもたちの健やかな成長を町ぐるみで見守り、同時に、子供を持つ家庭の経済的な支援、あるいは子育ての悩みに親身に寄り添える相談支援体制の確立など、子育てのしやすい環境を包括的に構築していきたいと考えております。区長をはじめ、民生児童委員、青少年育成西桂町民会議、スクールガード、育成会、子育て支援の会等の民間団体や学校、保育所、児童館、子育て支援センター等の行政関係機関及び、団体や企業等が連携し、「子育て支援のまち」宣言をする事

により、住民参加の子育て支援を積極的に推進していきたいと考えております。

岩田議員

本年度より入学、就職支度金が4月から支給されたが入学前、就職前の2月、3月に支給することはできないか。

町長

入学、就職支度金の支給時期については2月・3月での支給につきましては、この制度の見直しなども必要のため、年度内に支給できる人数や事務処理の量、体制について本年度、検証するなかで取り組んでまいります。

岩田議員

「ふれあいサロン改修事業・設計費」が予算措置されているが、進捗状況は。

町長

役場庁舎や東別館「ふれあいサロン」を中心とした周辺の土地活用は「ワンストップ窓口」設置に有効であると考え、現在所

有者の協力を十分に得られるよう細心の配慮をもって、進めている状況にあり、「不動産鑑定」や「土地収用法業務認定」等必要な事務委託を行う作業をしております。



ワンストップ窓口の早急な実現を

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その71



大正琴部の皆さん

訪問先

西桂町文化協会 大正琴部

代表：川村 久江

取材日：1月9日
渡部議員、中村議員

問 団体名は。

川村さん 文化協会大正琴部です。

問 代表者は。

みなさん 代表兼指導者の川村久江さんです。

問 参加者は。

皆さん 全員で14名です。「ハナミズキ」グループは4年、「フリージア」グループは20年以上活動しています。

問 活動目的は。

川村さん 西桂町で開催される各種イベントに参加しています。現在は、3月3日に開催される新春発表会に向け練習しています。

問 活動日は。

川村さん 月2回、きずな未来館で活動しています。

問 町に望むことは。

皆さん 会員減少が課題です。PRする機会を設けてほしいです。

問 町民に一言。

皆さん みんな楽しく活動しています。楽譜を見て、手を動かすので、脳の活性化に最適ですよ。



大正琴部新春発表会

日時 平成30年3月3日(土)
受付 12時30分～
開演 1時～4時

場所 きずな未来館

曲目 北国の春 他
入場無料です。

たくさんのご来場をお待ちしています。



発表会に向けて練習中

言ってみたい！
聞かせてよ！



保護者会会長 武藤 勲さん

武藤会長 餅つきは、子供だけでなく、私たち保護者会としても、とても楽しみです。日ごろの運動不足解消にもなると思います。子供たちの声援に後押しされ、高速餅つきをしました。園児も保護者も大いに盛り上がりました。自分たちでついた餅はとってもおいしいと思います。いっぱい食べて、大きくなあれ！

保育所もちつき会

取材しました

取材日：12月12日 渡部議員



おいしいお餅を
いただきます。

よいしょ！よいしょ！
応援もわすれずに。

お餅の味付けは
お母さんたちにまかせてね。



発行責任者
西桂町議会議員 小山 正則
編集委員長 渡部 保
副委員長 勝俣 豊一
委員 武藤 隆義
委員 岩田 裕展
委員 岩田 裕展

議会の傍聴を
お願いします。
次回定例会は3月
上旬です。
詳細は2月下旬、
ホームページにて
公表します。